



本レポートは、信金中金の海外駐在員が最新のトピックスについて報告します。本稿では信金中金が2021年1月および2月に開催を予定しております「しんきんアジア食品オンライン商談会」を前に「アジアにおける食品ニーズ」をテーマにお届けします。

今月のトピックス「アジアにおける食品ニーズ」

1. 日本食品の輸出動向
2. 国際色豊かな香港市場～トレンドは健康志向と簡便さ～（香港駐在員事務所）
3. 消費昇級により出費の増加する巨大マーケット（上海駐在員事務所）
4. 日本への関心高まるタイ（バンコク駐在員事務所職員）

1. 日本食品の輸出動向

■ 日本食品の輸出動向

2019年の農林水産物の輸出金額をみると香港向けが年間2,000億円を超えており、日本からの農林水産物の輸出先として15年連続での1位となっています。また、中国

農林水産物の国・地域別輸出実績

順位	国・地域名	2015	2016	2017	2018	2019
1	香港	1,794	1,853	1,877	2,115	2,037
2	中華人民共和国	839	899	1,007	1,338	1,537
3	アメリカ合衆国	1,071	1,045	1,115	1,176	1,238
4	台湾	952	931	838	903	904

こちらは信用金庫とのお取引先向けとさせて頂いております。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

[続きを読む](#)